

2026年（4月時点）高2生【Aテスト・Bテスト】の概要

【Aテスト】

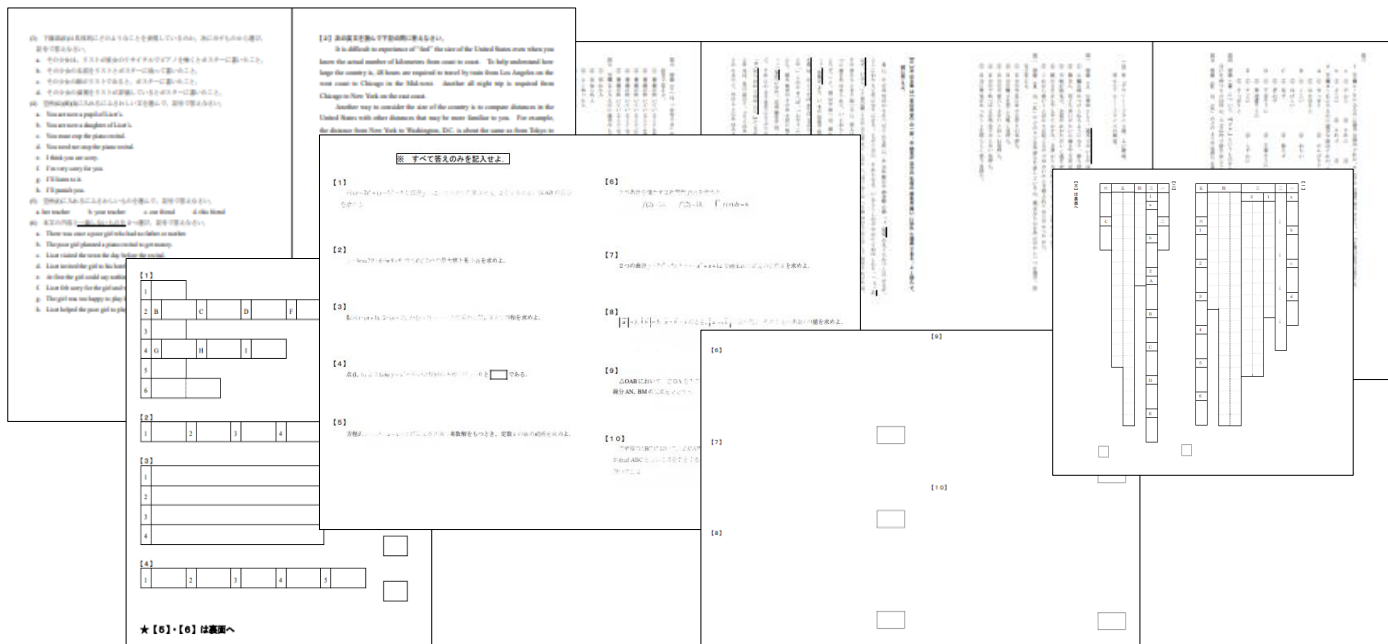
英語【想定解答時間30分】（短答式）	数学【想定解答時間30分】（短答式）	国語【想定解答時間30分】（短答式）
<p>■ 出題のねらい</p> <p>英語の基本的な知識（単語・熟語・文法・語法・構文）に立脚した基礎的な問題を通して、基本的な英語力を確認するとともに、お茶ゼミ/+において「どのようなクラスで授業を受講するのが適切か」を判断させていただきます。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>高校数学の数学Ⅰおよび数学Aについて、基本概念や解法の理解およびその定着度を確認することで、適切な受講クラスの判定を行います。なお、時期に応じて、高校数学の「式と証明」「図形と方程式」「指数・対数・三角関数」についても出題します。詳細は範囲表を参照してください。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>既習の基礎的な問題を通して、受検者が自身の必要とする学習内容を把握するとともに、お茶ゼミ/+においてどのようなクラスでどのような授業を受講するのが適切かを判断する資料とさせていただきます。</p>
<p>■ アドバイス</p> <p>ハイレベルな知識、および読解力や作文能力が求められるテストではありません。これまでの英語学習で身につけてきた内容の確認を行い、「自分が現在必要としている力は何なのか」を明確にして、今後の英語学習のきっかけになって欲しいと願っております。</p>	<p>■ アドバイス</p> <p>名称はテストですが、学校の課題を解くような気持ちで問題を解いてほしいと思います。本テスト問題を通じて「自分は何ができていて、何ができていないのか？」を明確にすることができ、今後の学習課題のきっかけになるはずです。皆さんにとって、価値のあるテストになることを期待しています。</p>	<p>■ アドバイス</p> <p>高度な知識や、読解力が求められるテストではありません。これまでの学習で身につけてきた漢字の読み取りや書き取り、慣用表現の知識や短文を用いた読解の基礎力の確認をします。ご自身が現在必要としている力は何なのか、確認してみるためにも先ずは受験してみてください。</p>

※フランス語については、英語の内容を参考にしてください。

【Bテスト】

英語【試験時間60分】（記述含む）	数学【試験時間60分】（記述含む）	国語【試験時間60分】（記述含む）
<p>■ 出題のねらい</p> <p>東大・京大・一橋・早慶・難関国立大などを受験するにあたって、高2段階でのベースとなる力が備わっているかを確認します。出題は多様な形ですが、「単語力」「文法の知識をベースに正確に英語を読み書きできる力」が主に求めます。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>本テストで、数学ⅠAⅡB（＋数学Cベクトル）の基礎概念を理解しているか、典型的な解法が定着しているかを問います。実際の講義では最難関大合格のため高2時に必要な問題を扱いますが、その問題を自力で予習できたり、受講後に講義を活用できたり、基盤となる力があるかを本テストで確認します。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>東大・京大・早稲田大学をはじめとした、最難関・難関大学を受験するにあたって、高校第2学年のそれぞれの時期において必要とされる基礎力を身につけているかを確認します。基本的な現代文読解力と、古文単語・古文文法の基本的な知識とそれらを運用しながら読解する力を問います。</p>
<p>■ アドバイス</p> <p>語彙問題、文法問題、整序英作文、長文読解、自由英作文など、様々な形で出題します。単語力をつけ、正確な英文解釈力（英文構造に即して正確に英文の意味をつかむ力）を鍛えることが重要です。</p>	<p>■ アドバイス</p> <p>本テストで「大学入試問題を解くために基盤となる数学力とは何か？」「自分の得意・不得意な分野はどこなのか？」などをはっきりとさせることができます。本テスト問題を解くことで、今から大学受験当日までの課題を発見してほしいと思います。</p>	<p>■ アドバイス</p> <p>将来的に最難関・難関大学を受験するにあたって、それぞれの時点で求められる力を問うものです。大学入試レベルの読解問題が中心になりますが、あくまでも既習の内容が定着しており、かつ、使えるのかを問う問題になっています。自身の「現在地点」を確認するためにも、先ずはチャレンジしてみましょう。</p>

問題および解答用紙のイメージ



注. 問題および解答用紙はあくまでイメージです。実際のテスト問題および解答用紙とは異なる可能性があります。

2026年（4月時点）高3生【Aテスト・Bテスト】の概要

【Aテスト】

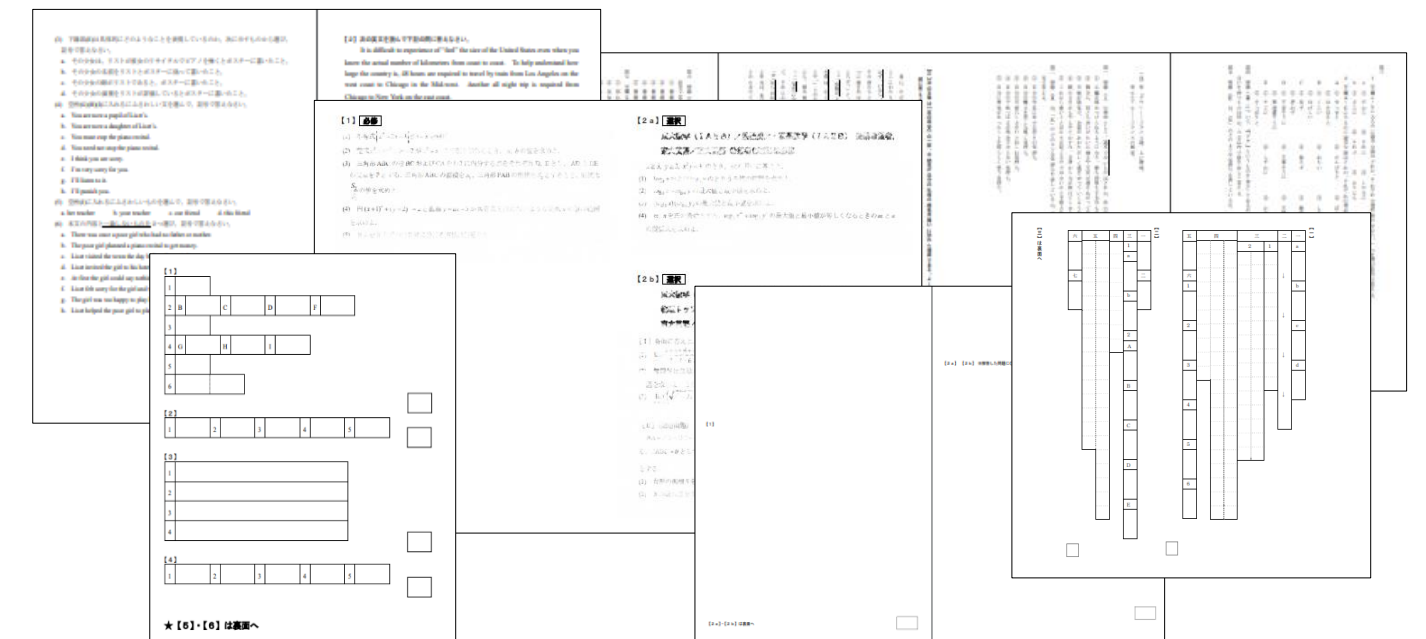
英語【想定解答時間30分】（短答式）	数学【想定解答時間30分】（短答式）	国語【想定解答時間30分】（短答式）
<p>■ 出題のねらい</p> <p>大学受験をするにあたって、土台となる標準的な英語力が備わっているかを確認します。具体的には、単語・熟語・文法・語法・構文の知識と理解度を確認する試験を行います。その上で、お茶ゼミ/+において「どのようなクラスで授業を受講するのが適切か」を判断させていただきます。</p> <p>■ アドバイス</p> <p>ハイレベルな知識、および読解力や作文能力が求められるテストではなく、あくまで受験生として必要不可欠な標準的な英語力を確認するテストです。これまでの英語学習で身につけてきた内容の確認を行い、「自分が現在必要としている力は何なのか」を明確にして、今後の英語学習のきっかけになって欲しいと願っております。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>必答問題においては「数学ⅠA全範囲」、選択問題においては「数学ⅡBおよびベクトル」または「数学Ⅲの極限・微分法」において、基本概念や解法の理解およびその定着度を確認することで、適切な受講クラスの判定をいたします。詳細は範囲表参照してください。</p> <p>■ アドバイス</p> <p>名称はテストですが、学校の課題を解くような気持ちで問題を解いてほしいと思います。本テスト問題を通じて「自分は何ができていて、何ができていないのか？」を明確にすることができ、今後の学習課題のきっかけになるはずです。皆さんにとって、価値のあるテストになることを期待しています。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>既習の基礎的な問題を通して、受験者が自身の必要とする学習内容を把握するとともに、お茶ゼミ/+においてどのようなクラスでどのような授業を受講するのが適切かを判断する資料とさせていただきます。</p> <p>■ アドバイス</p> <p>高度な知識や、読解力が求められるテストではありません。これまでの学習で身につけてきた漢字の読み取りや書き取り、慣用表現の知識や短文を用いた読解の基礎力の確認をします。ご自身が現在必要としている力は何なのか、確認してみるためにもまずは受検してみてください。</p>

※フランス語については、短答式で、受験フランス語の基本的な内容を問うものになります。発音、単語、文法や短文問題などを通じて、受験フランス語の基本学力レベルを見させていただきます。学校で使用している単語集などを見直してから受検するといでしょう。

【Bテスト】

英語【試験時間60分】（記述含む）	数学【試験時間60分】（記述含む）	国語【試験時間60分】（記述含む）
<p>■ 出題のねらい</p> <p>東大・京大・一橋・早慶・難関国立大などを受験するにあたって、高2段階でのベースとなる力が備わっているかを確認します。出題は多種多様な形ですが、「単語力」「文法の知識をベースに正確に英語を読み書きできる力」が主に求めます。</p> <p>■ アドバイス</p> <p>語彙問題、文法問題、整序英作文、長文読解、自由英作文など、様々な形で出題します。単語力をつけ、正確な英文解釈力（英文構造に即して正確に英文の意味をつかむ力）を鍛えることが重要です。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>東大や京大など、最難関大の入試では初見の問題が問われることが少なくありません。ただ、初見の問題だとしても、高等学校で学習する概念や解法がその根幹に含まれています。本テストにおいて、高校数学の基礎概念や典型解法の定着度を確認します。</p> <p>■ アドバイス</p> <p>本テストで「大学入試問題を解くために基盤となる数学力とは何か?」「自分の得意・不得意な分野はどこのか?」などをはっきりとさせることができます。本テスト問題を解くことで、大学合格までの自らの課題を発見してほしいと思っています。</p>	<p>■ 出題のねらい</p> <p>東大・京大・早稲田大学をはじめとした、最難関・難関大学を受験するにあたって、高校第3学年のそれぞれの時期において必要とされる力を身につけているかを確認します。実践的な現代文読解力と、古文単語・古文文法の基本的な知識とそれらを運用しながら読解する力を問います。</p> <p>■ アドバイス</p> <p>最難関・難関大学を受験するにあたって、それぞれの時点で求められる力を問うものです。大学入試レベルの読解問題が中心になりますが、あくまでも既習の内容が定着しており、使えるのかを問う問題になっています。自身の「現在地点」を確認するためにも、まずはチャレンジしてみましょう。</p>

問題および解答用紙のイメージ



注. 問題および解答用紙はあくまでイメージです。実際のテスト問題および解答用紙とは異なる可能性もあります。

2026年（4月時点）高1生【Aテスト・Bテスト】の概要

【Aテスト】

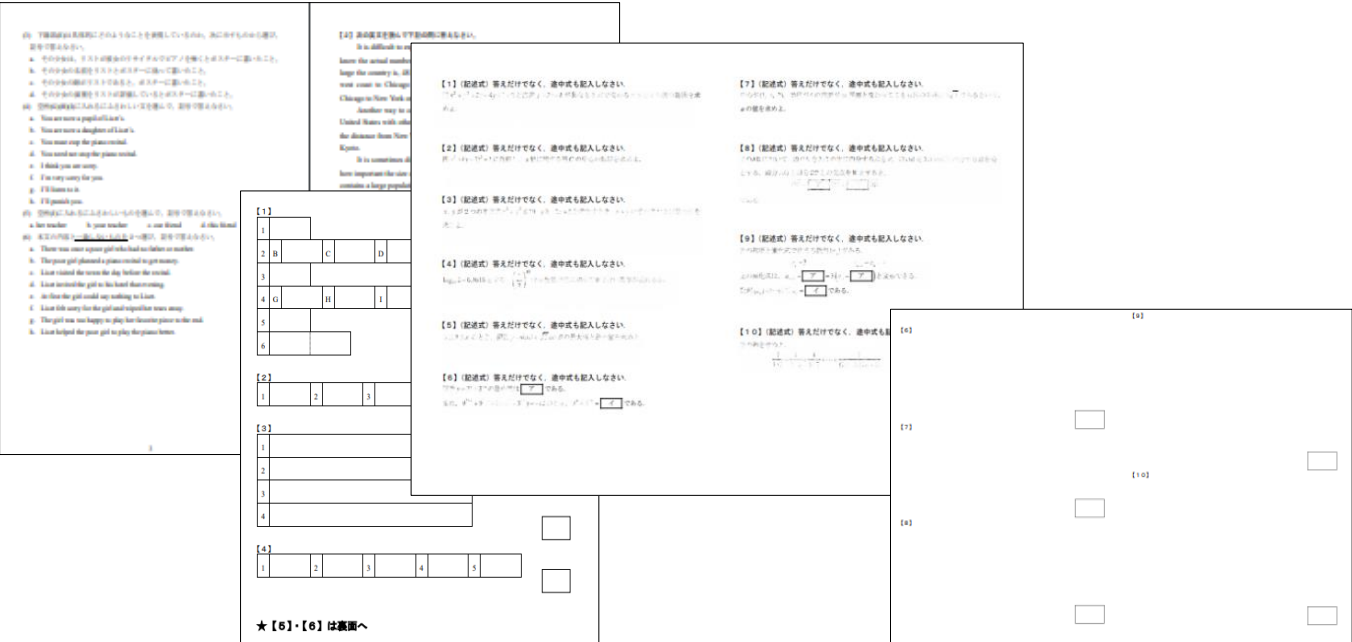
英語【想定解答時間30分】（短答式）	数学【想定解答時間30分】（短答式）
<p>■出題のねらい</p> <p>英語の基本的な知識（単語・熟語・文法・語法・構文）に立脚した基礎的な問題を通して、基本的な英語力を確認するとともに、お茶ゼミ/+において「どのようなクラスで授業を受講するのが適切か」を判断させていただきます。</p> <p>■アドバイス</p> <p>ハイレベルな知識、および読解力や作文能力が求められるテストではありません。これまでの英語学習で身につけてきた内容の確認を行い、「自分が現在必要としている力は何なのか」を明確にして、今後の英語学習のきっかけになって欲しいと願っております。</p>	<p>■出題のねらい</p> <p>初期は中学数学（数式・関数・図形・確率など）について、基本概念や解法の理解およびその定着度を確認することで、適切な受講クラスの判定を行います。時期に応じて、高校数学の「2次関数(数学Ⅰ内容)」および「図形と方程式(数学Ⅱ内容)」について、基本概念や解法を理解しているかを問います。</p> <p>■アドバイス</p> <p>名称はテストですが、学校の課題を解くような気持ちで問題を解いてほしいと思います。本テスト問題を通じて「自分は何ができていて、何ができていないのか？」を明確にすることができ、今後の学習課題のきっかけになるはずです。皆さんにとって、価値のあるテストになることを期待しています。</p>

※フランス語については、英語の内容を参考にしてください。

【Bテスト】

英語【試験時間60分】（記述含む）	数学【試験時間60分】（記述含む）
<p>■出題のねらい</p> <p>将来的に最難関大に受験するにあたり、そのベースとなる力が備わっているかを確認します。出題は多種多様な形ですが「単語力」「正確に英語を読み書きできる力（例えば読解の場合、単語をつなぎあわせてなんとなく意味をとるのではなく、英文構造に留意して正確に意味をつかむ力）」を主に求めます。</p> <p>■アドバイス</p> <p>語彙問題、文法問題、整序英作文、長文読解、自由英作文など、様々な形で出題します。単語力をつけ、正確な英文解釈力（英文構造に即して正確に英文の意味をつかむ力）を鍛えることが重要です。</p>	<p>■出題のねらい</p> <p>本テストで、数学ⅠAⅡB（+数学Cベクトル）の基礎概念を理解しているか、典型的な解法が定着しているかを問います。実際の講義では最難関大合格のために必要となる問題を扱うのですが、その問題を自力で予習できたり、受講後に講義を活用できたり、基盤となる力があるかを本テストで確認します。出題範囲については範囲表を参照してください。</p> <p>■アドバイス</p> <p>本テストで「大学入試問題を解くために基盤となる数学力とは何か？」「自分の得意・不得意な分野はどこなのか？」などをはっきりとさせることができます。本テスト問題を解くことで、現時点での自分の課題点を発見してほしいと思っています。</p>

問題および解答用紙のイメージ



注. 問題および解答用紙はあくまでイメージです。実際のテスト問題および解答用紙とは異なる可能性もあります。